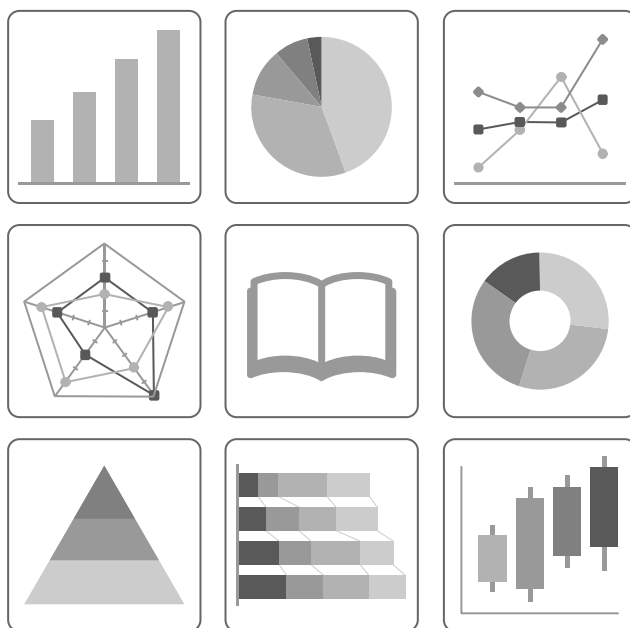


岩倉市

男女共同参画に関する市民意識調査

調査結果報告書（速報）



令和2年10月

岩 倉 市

目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
6	調査結果の表示方法	1
II	調査結果	2
1	回答者属性	2
2	用語の認知度について	4
3	男女の平等感について	5
4	DV（ドメスティック・バイオレンス）について	6
5	性的少数者について	11
6	子育てにおける男女共同参画について	12
7	家庭、仕事、地域・個人の生活のバランスについて	13
8	男女の働き方について	14
9	地域社会について	22
10	男女共同参画社会について	23

I 調査の概要

1 調査の目的

「岩倉市男女共同参画基本計画」の次期計画策定の基礎資料として、調査を実施するものです。

2 調査対象

岩倉市在住の18歳以上の方、2,000人を無作為抽出

3 調査期間

令和2年8月13日から令和2年9月4日

4 調査方法

郵送による配布・回収

5 回収状況

配布数	有効回答数	有効回答率
2,000通	496通	24.8%

6 調査結果の表示方法

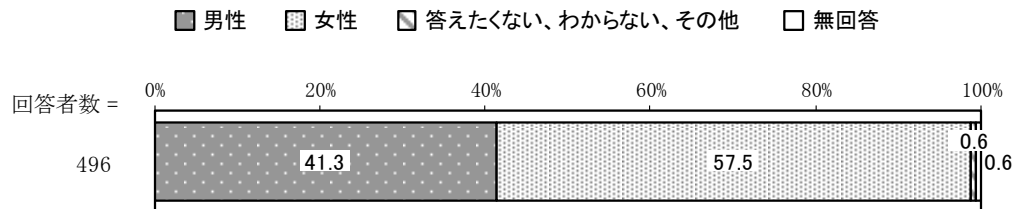
- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを■で網かけをしています。（無回答を除く）
- ・回答者数が1桁の場合、回答件数による表記としています。

II 調査結果

1 回答者属性

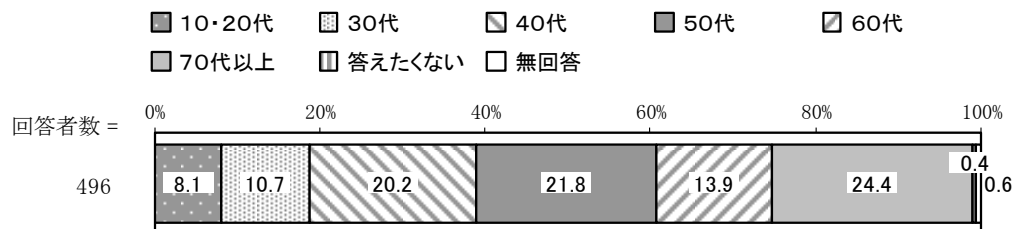
A あなたの性別について教えてください。

「女性」の割合が57.5%と最も高く、次いで「男性」の割合が41.3%となっています。



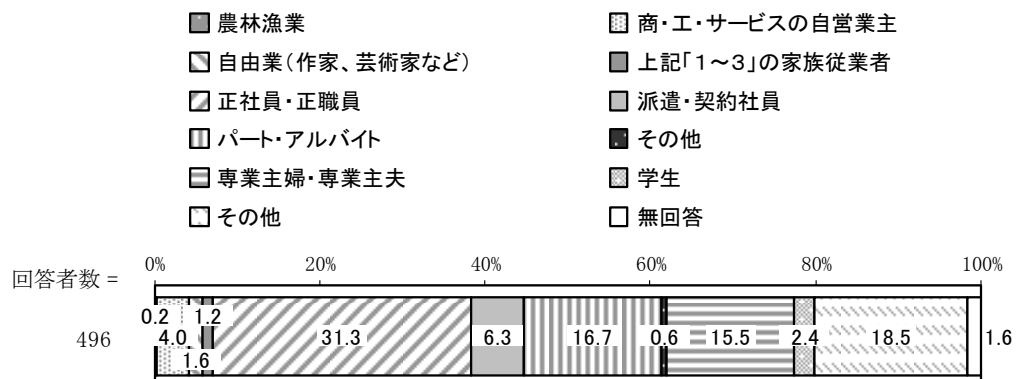
B あなたの年代（年齢）を教えてください。

「70代以上」の割合が24.4%と最も高く、次いで「50代」の割合が21.8%、「40代」の割合が20.2%となっています。



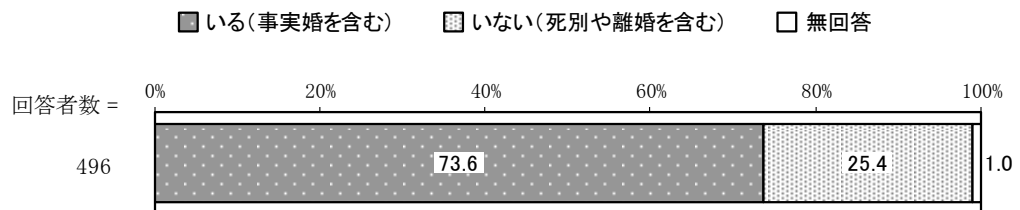
C あなたの職業は、次の中のどれにあたりますか。1つだけ選んで○をつけてください。

「正社員・正職員」の割合が31.3%と最も高く、次いで「パート・アルバイト」の割合が16.7%、「専業主婦・専業主夫」の割合が15.5%となっています。



D あなたに配偶者（パートナー）はいますか。

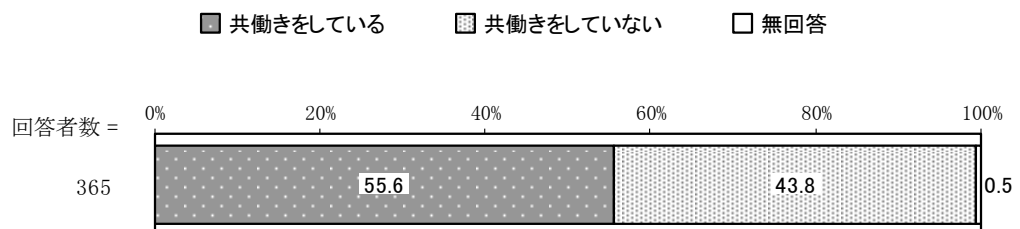
「いる（事実婚を含む）」の割合が73.6%、「いない（死別や離婚を含む）」の割合が25.4%となっています。



《Dの質問で「1. いる（事実婚を含む）」と答えた方にのみお聞きします》

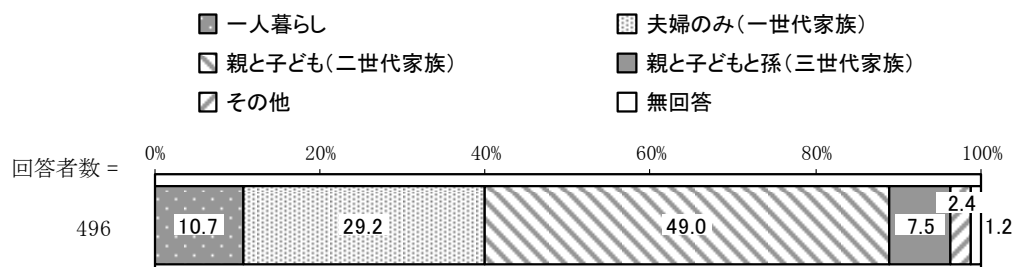
D-1 あなたと配偶者は、共働き（パート、アルバイトを含む）をしていますか。

「共働きをしている」の割合が55.6%、「共働きをしていない」の割合が43.8%となっています。



E あなたの世帯の家族構成はどれに該当しますか。1つだけ選んで○をつけてください。

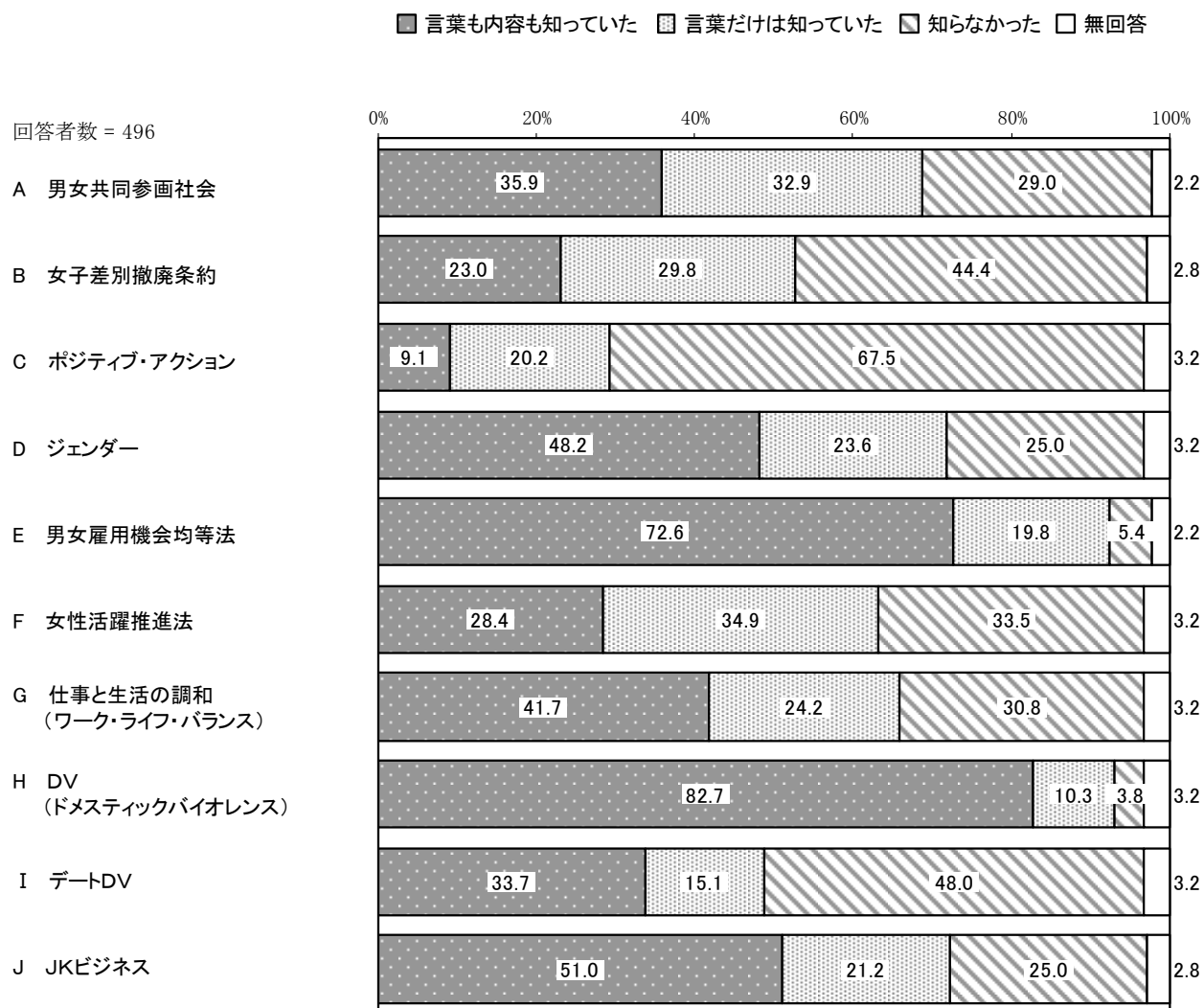
「親と子ども（二世世代家族）」の割合が49.0%と最も高く、次いで「夫婦のみ（一世世代家族）」の割合が29.2%、「一人暮らし」の割合が10.7%となっています。



2 用語の認知度について

問1 次の用語について知っていましたか。A～Jのそれぞれの項目について、あてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

『H DV (ドメスティックバイオレンス)』で「言葉も内容も知っていた」の割合が高くなっています。また、『C ポジティブ・アクション』で「知らなかった」の割合が高くなっています。



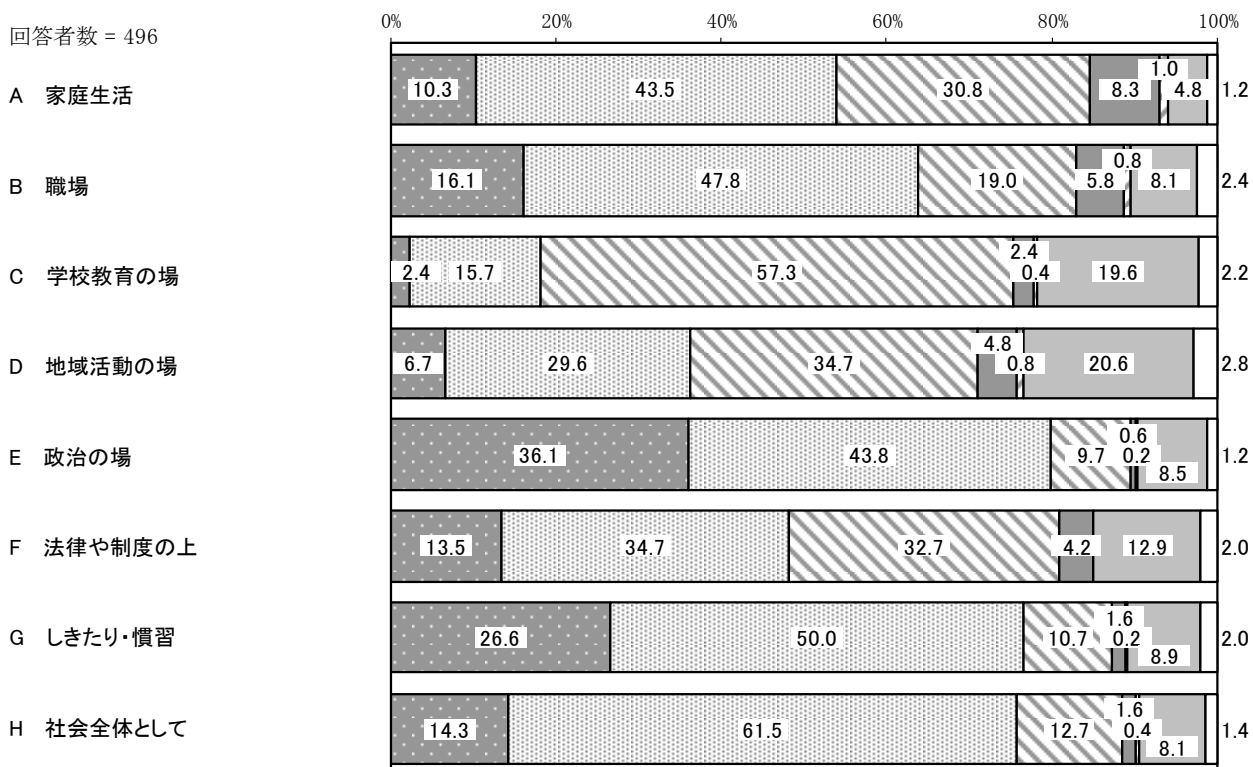
3 男女の平等感について

問2 次の各場面および分野において、男女の地位は平等になっていると思いますか。
A～Hの項目について、あてはまるものを1つずつ選んで○をつけてください。

『E 政治の場』『G しきたり・慣習』『H 社会全体として』で「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」をあわせた“男性優遇”の割合が高くなっています。また、『C 学校教育の場』で「平等である」の割合が高くなっています。

- 男性の方が非常に優遇されている
- ▨ どちらかといえば男性の方が優遇されている
- ▩ 平等である
- どちらかといえば女性の方が優遇されている
- ▨ 女性の方が非常に優遇されている
- わからない
- 無回答

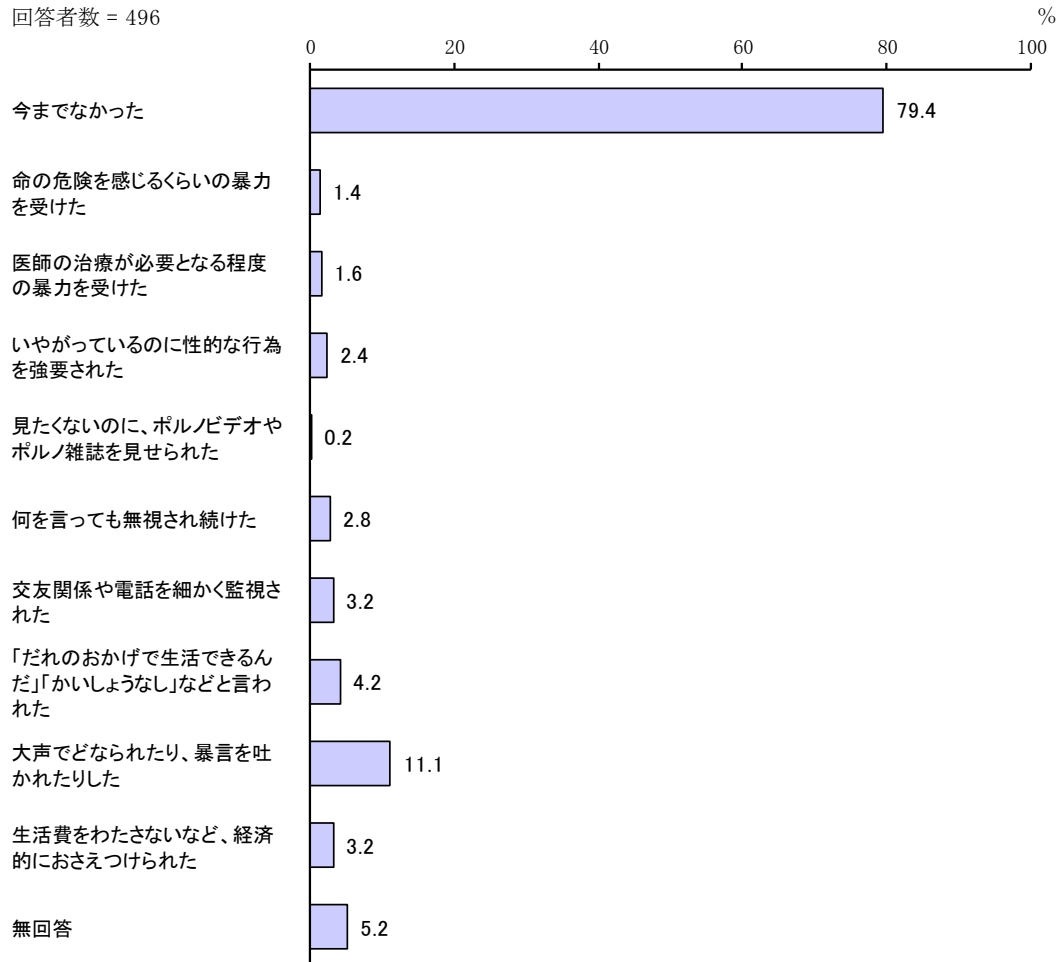
回答者数 = 496



4 DV（ドメスティック・バイオレンス）について

問3 これまでに、あなたの配偶者や交際相手から、次のような行為を受けた経験がありますか。あてはまると思うものをすべて選んで○をつけてください。

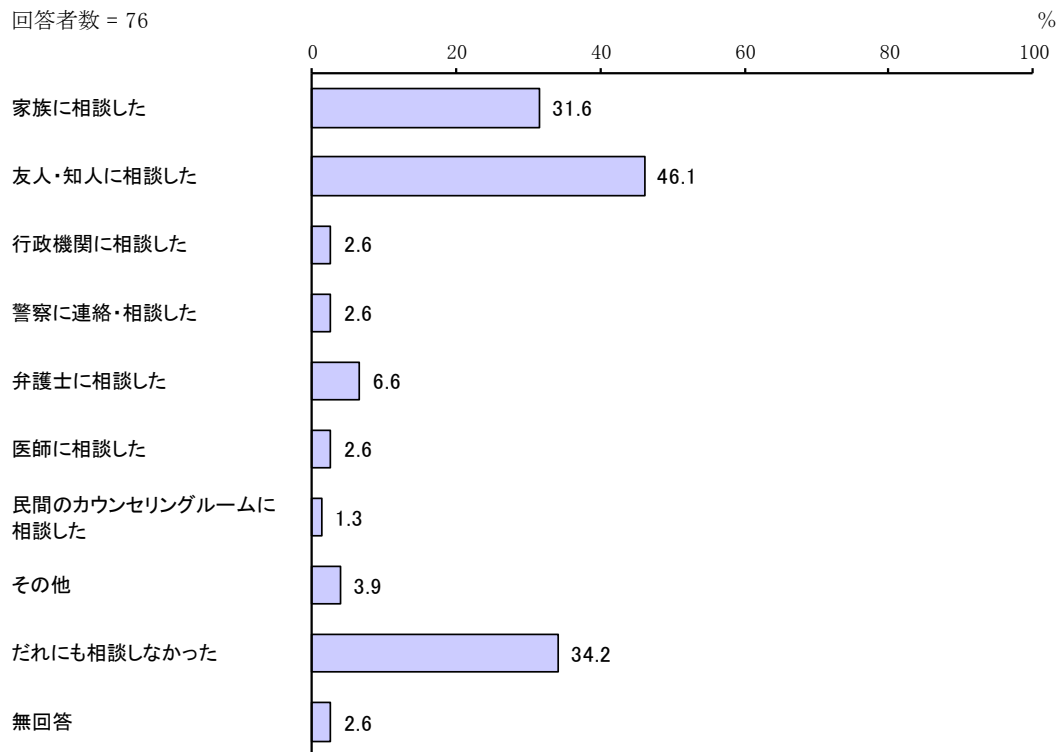
「今までなかった」の割合が79.4%と最も高く、次いで「大声でどなられたり、暴言を吐かれたりした」の割合が11.1%となっています。



《問3で、2から10を選んだ方にのみお聞きします》

問3-1 これまでに配偶者や交際相手から受けた行為について、だれかに打ち明けたり、相談したりしましたか。次の中からあてはまると思うものをすべて選んで○をつけてください。

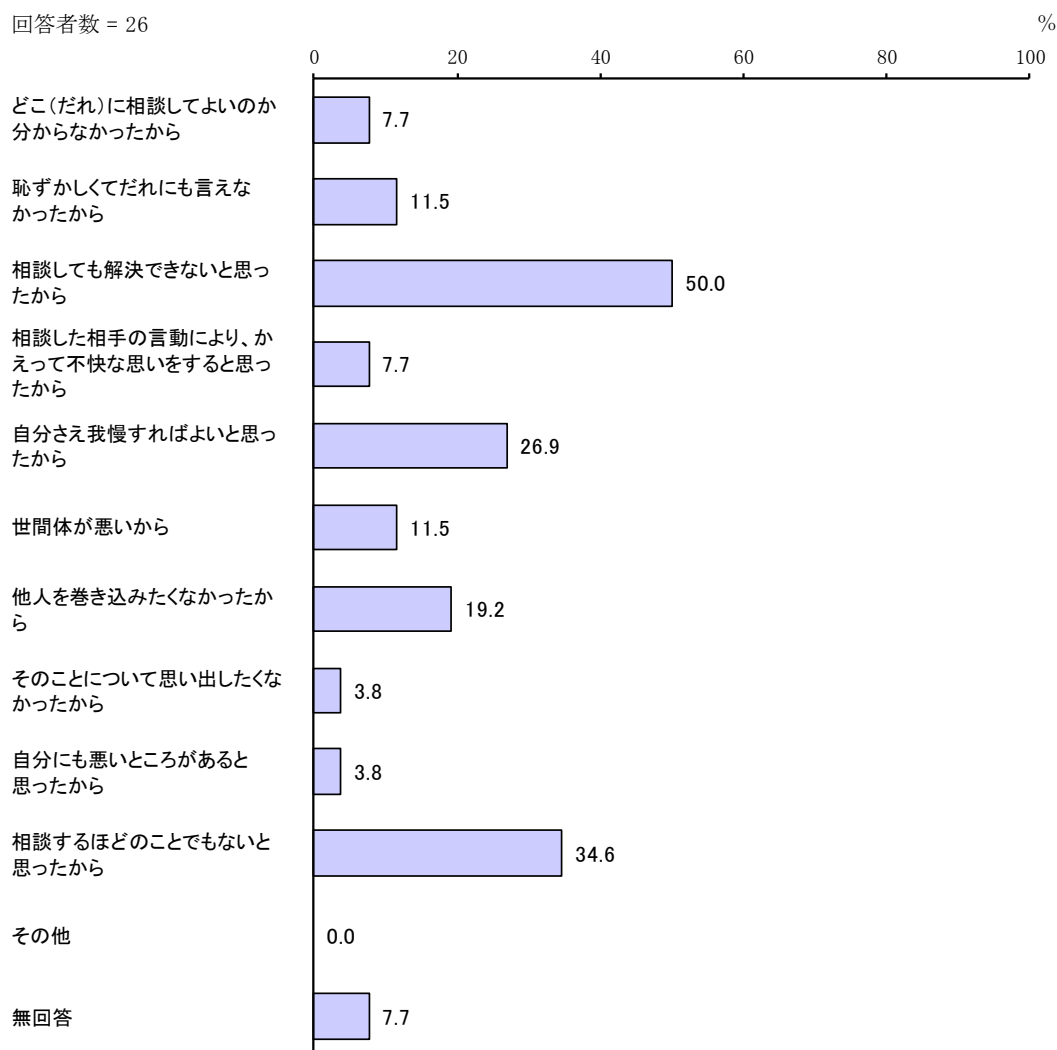
「友人・知人に相談した」の割合が46.1%と最も高く、次いで「だれにも相談しなかった」の割合が34.2%、「家族に相談した」の割合が31.6%となっています。



《問3-1で「9. だれにも相談しなかった」と答えた方のみお聞きします》

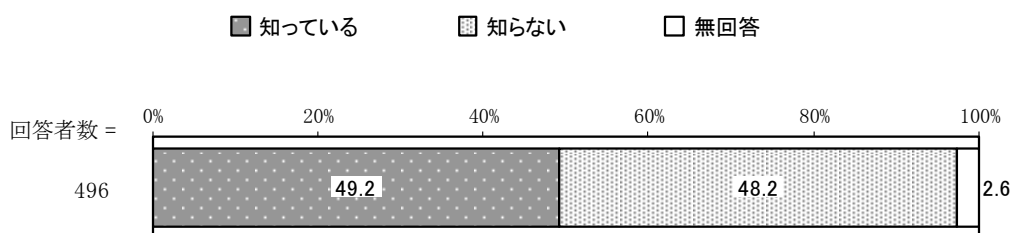
問3-2 だれにも相談しなかった理由として、次の中からあてはまると思うものをすべて選んで○をつけてください。

「相談しても解決できないと思ったから」の割合が50.0%と最も高く、次いで「相談するほどのことでもないと思ったから」の割合が34.6%、「自分さえ我慢すればよいと思ったから」の割合が26.9%となっています。



問4 あなたは、配偶者、交際相手からの暴力について相談できる窓口をご存知ですか。

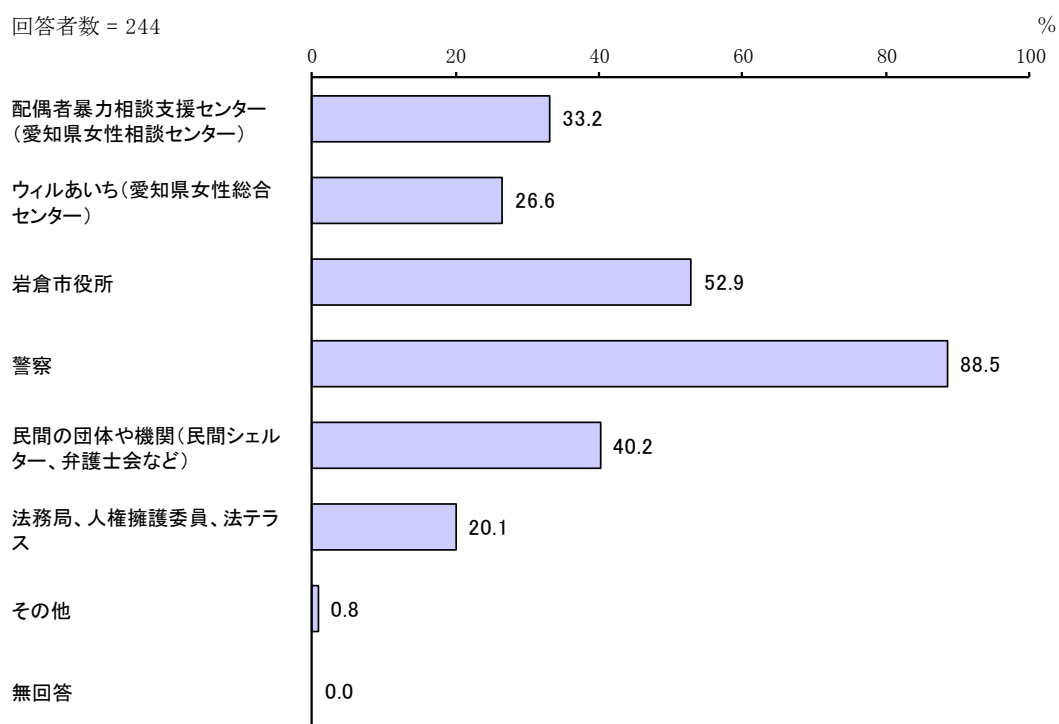
「知っている」の割合が49.2%、「知らない」の割合が48.2%となっています。



《問4で「1. 知っている」と回答した方にお聞きします》

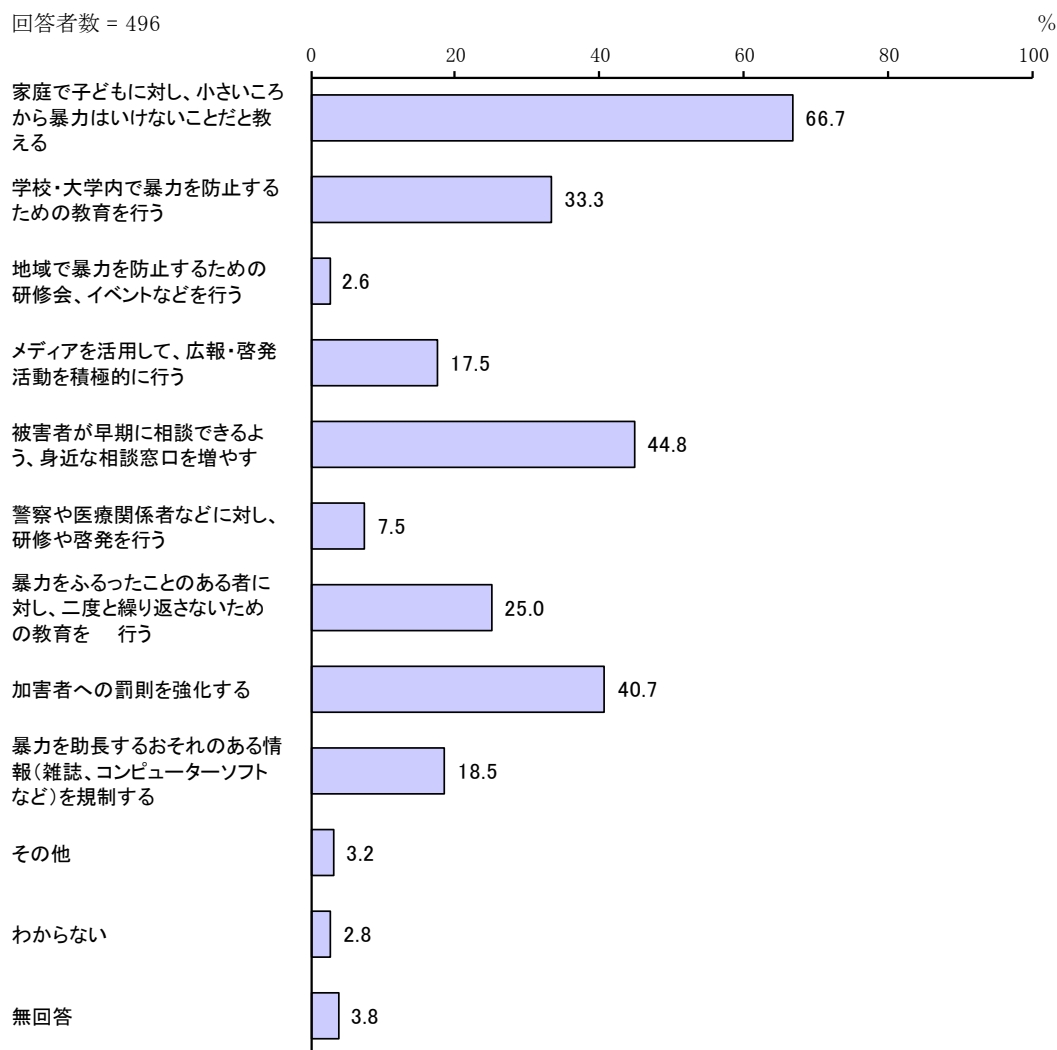
問4—1 知っている相談窓口をすべて選んで○をつけてください。

「警察」の割合が88.5%と最も高く、次いで「岩倉市役所」の割合が52.9%、「民間の団体や機関（民間シェルター、弁護士会など）」の割合が40.2%となっています。



問5 男女間における暴力を防止するために特に重要と思うものを3つまで選んで○をつけてください。

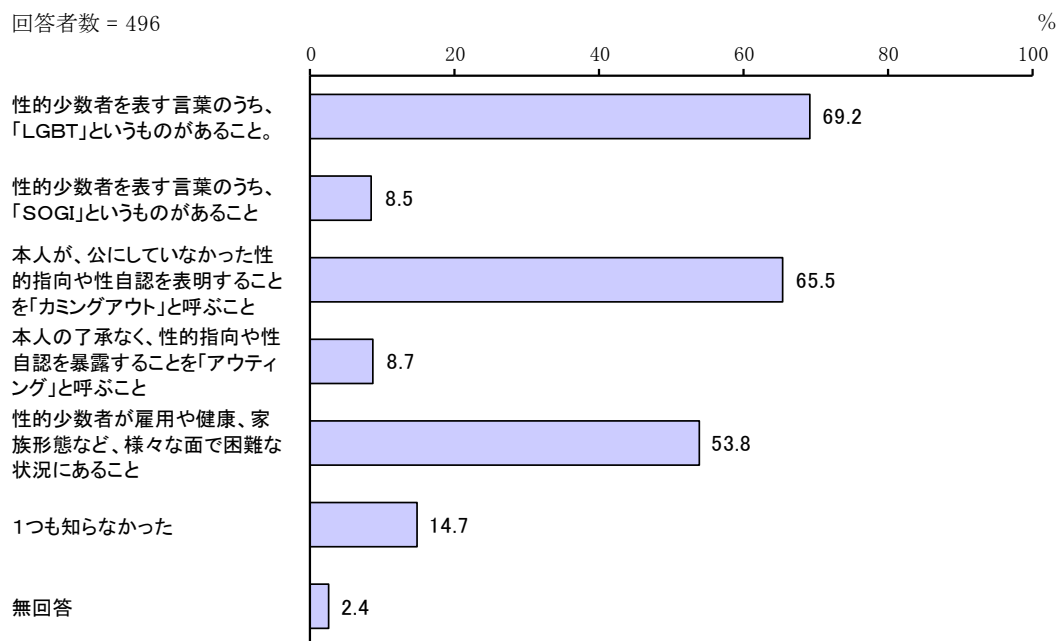
「家庭で子どもに対し、小さいころから暴力はいけないことだと教える」の割合が66.7%と最も高く、次いで「被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす」の割合が44.8%、「加害者への罰則を強化する」の割合が40.7%となっています。



5 性的少数者について

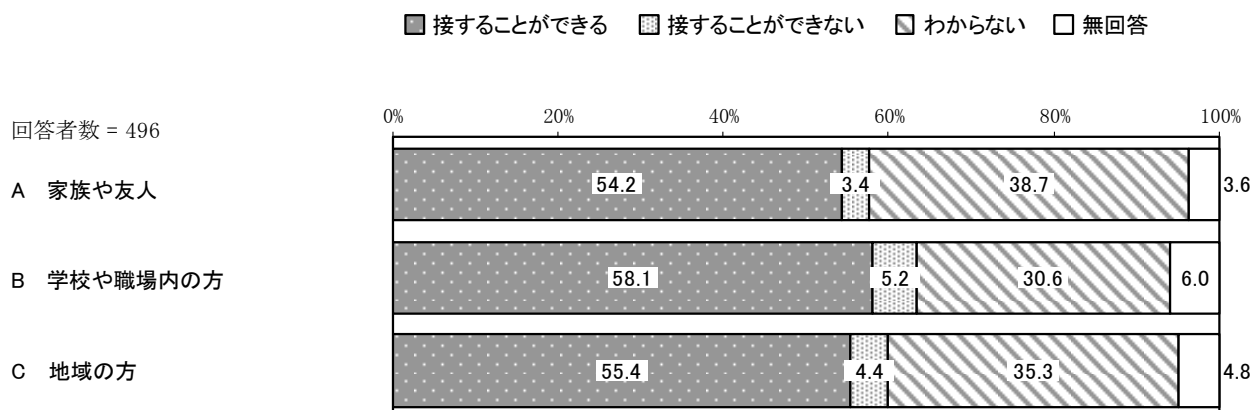
問6（1）あなたは、性的少数者に関する次のことについて知っていますか。次の中からすべて選んで○をつけてください。

「性的少数者を表す言葉のうち、「LGBT」というものがあること。」の割合が69.2%と最も高く、次いで「本人が、公にしていなかった性的指向や性自認を表明することを「カミングアウト」と呼ぶこと」の割合が65.5%、「性的少数者が雇用や健康、家族形態など、様々な面で困難な状況にあること」の割合が53.8%となっています。



問6（2）身近な方などが性的少数者だった場合、あなたはこれまでと変わりなく接することができますか。A～Cの項目について、あてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

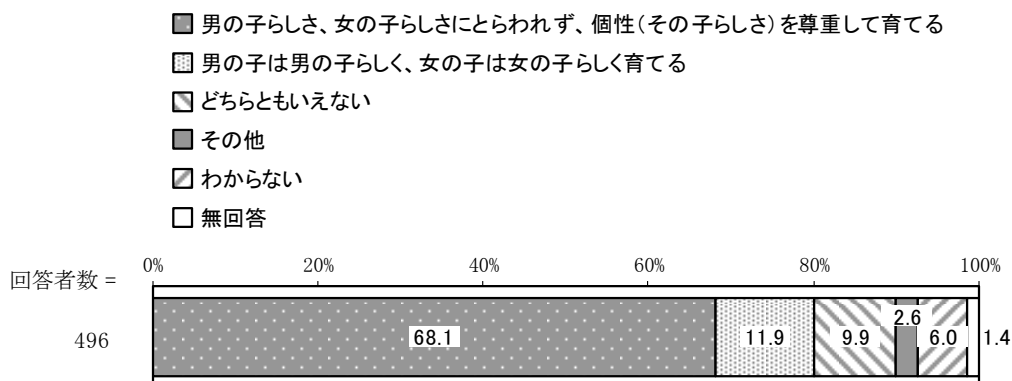
『B 学校や職場内の方』で「接することができる」の割合が高くなっています。



6 子育てにおける男女共同参画について

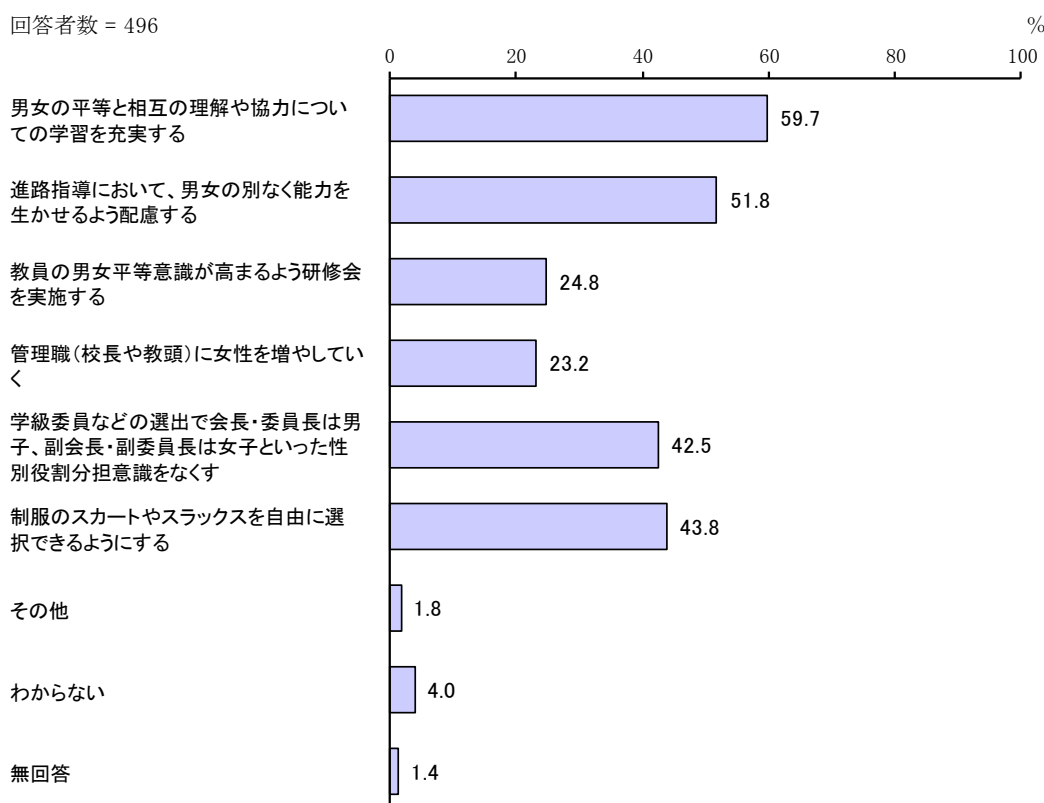
問7 子どもをどのように育てたいと思いますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

「男の子らしさ、女の子らしさにとらわれず、個性（その子らしさ）を尊重して育てる」の割合が68.1%と最も高く、次いで「男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てる」の割合が11.9%となっています。



問8 学校において男女平等教育を推進するために特に何が必要だと思えますか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。

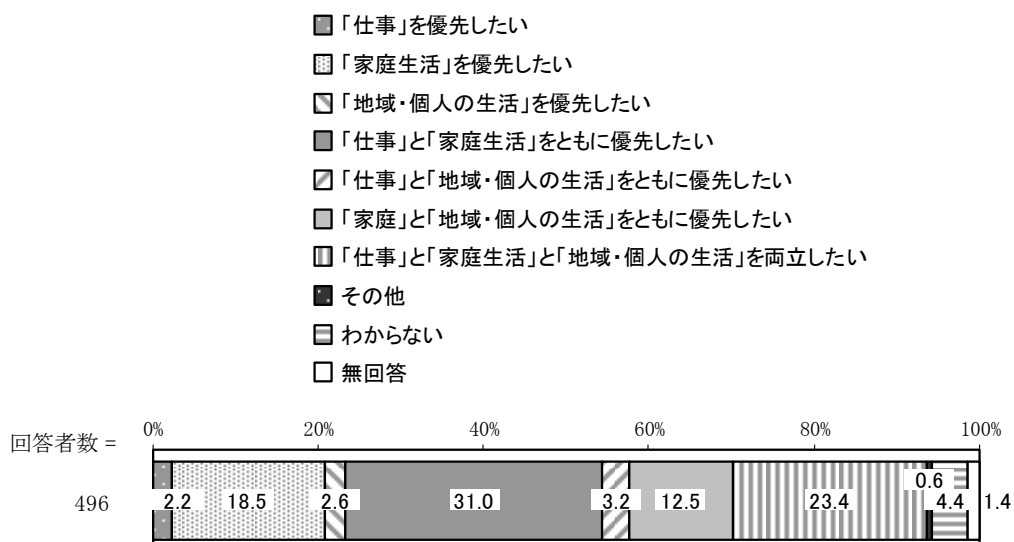
「男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する」の割合が59.7%と最も高く、次いで「進路指導において、男女の別なく能力を生かせるよう配慮する」の割合が51.8%、「制服のスカートやスラックスを自由に選択できるようにする」の割合が43.8%となっています。



7 家庭、仕事、地域・個人の生活のバランスについて

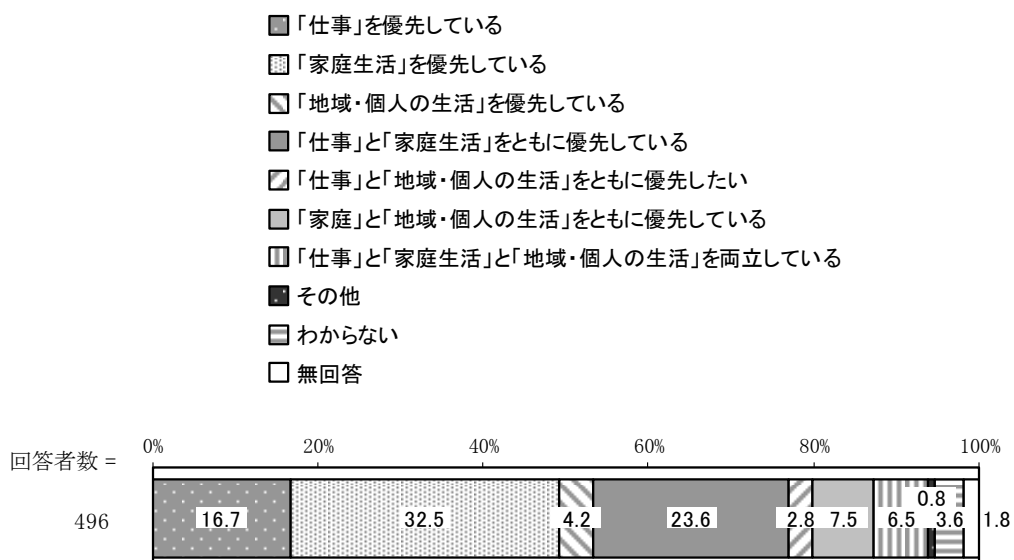
問9 生活の中での「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活」の優先度について、希望に最も近いものはどれですか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい」の割合が31.0%と最も高く、次いで「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」を両立したい」の割合が23.4%、「家庭生活」を優先したい」の割合が18.5%となっています。



問10 生活の中での「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活」の優先度について、現在の状況に最も近いものはどれですか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

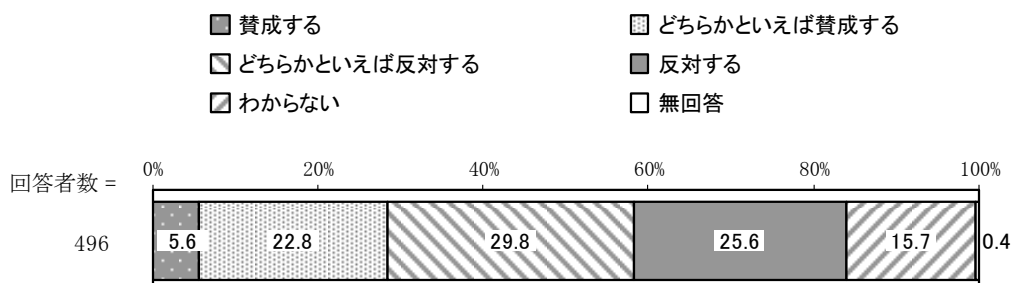
「家庭生活」を優先している」の割合が32.5%と最も高く、次いで「仕事」と「家庭生活」をともに優先している」の割合が23.6%、「仕事」を優先している」の割合が16.7%となっています。



8 男女の働き方について

問 11 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方について、どのように思いますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

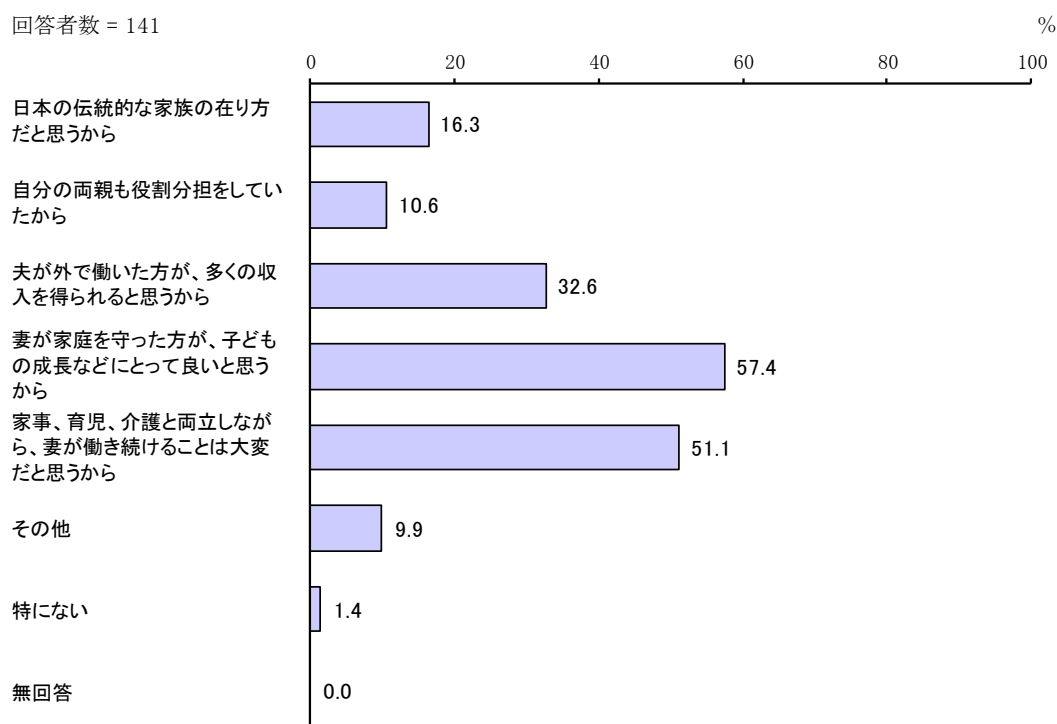
「どちらかといえば反対する」の割合が29.8%と最も高く、次いで「反対する」の割合が25.6%、「どちらかといえば賛成する」の割合が22.8%となっています。



《問 11 で「1. 賛成する」、「2. どちらかといえば賛成する」と回答した方にお聞きします》

問 11—1 そう思うのはなぜですか。次の中からあてはまると思うものをすべて選んで○をつけてください。

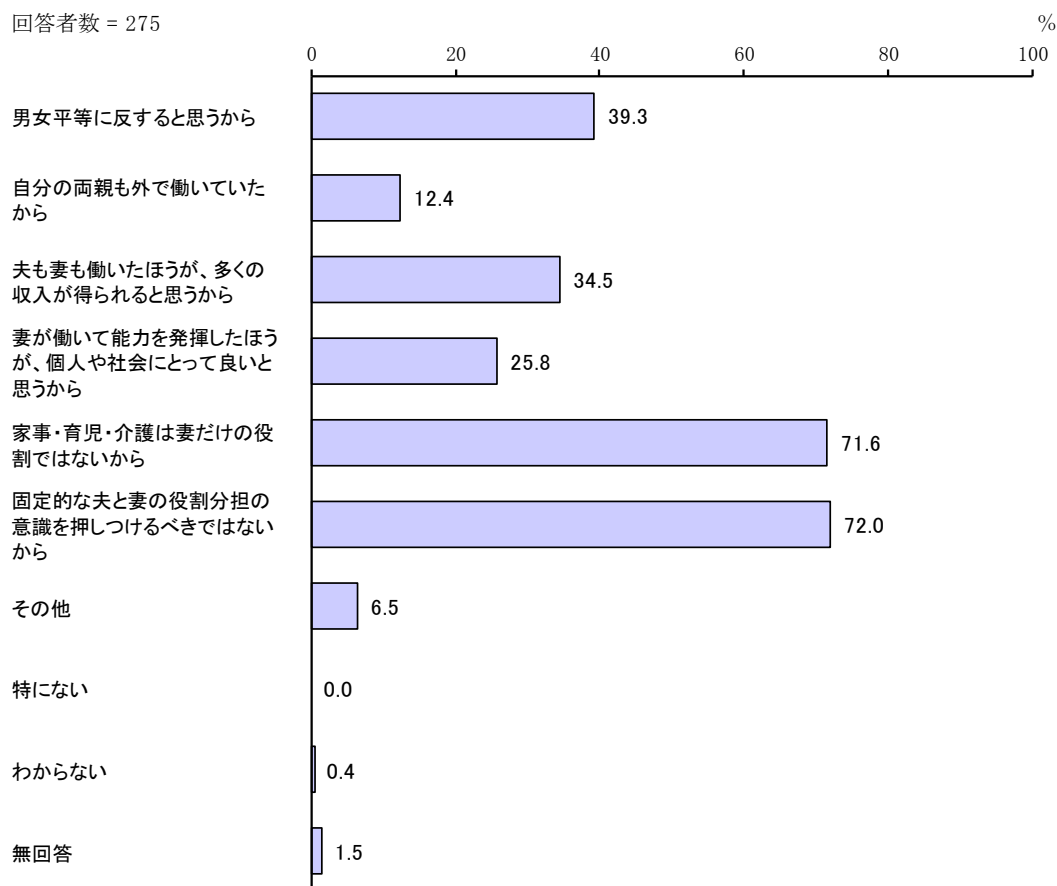
「妻が家庭を守った方が、子どもの成長などにとって良いと思うから」の割合が57.4%と最も高く、次いで「家事、育児、介護と両立しながら、妻が働き続けることは大変だと思うから」の割合が51.1%、「夫が外で働いた方が、多くの収入を得られると思うから」の割合が32.6%となっています。



《問 11 で「3. どちらかといえば反対する」、「4. 反対する」、と回答した方にお聞き
します》

問 11-2 そう思うのはなぜですか。次の中からあてはまると思うものをすべて選んで
○をつけてください。

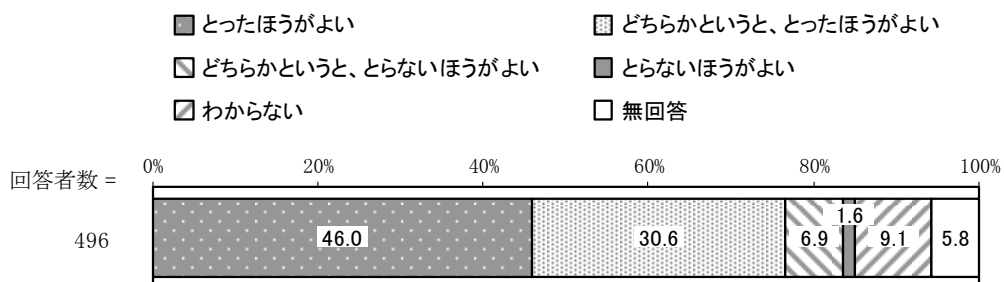
「固定的な夫と妻の役割分担の意識を押しつけるべきではないから」の割合が 72.0%と最も高
く、次いで「家事・育児・介護は妻だけの役割ではないから」の割合が 71.6%、「男女平等に反
すると思うから」の割合が 39.3%となっています。



問 12 男性が育児や介護をするために休みをとることについて、どのように思いますか。A、Bそれぞれの項目について、あてはまるものを一つずつ選んで○をつけてください。

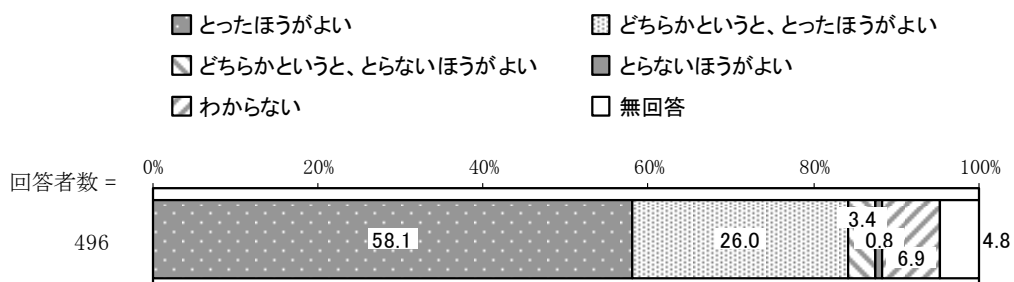
A 育児休暇

「とったほうがよい」の割合が46.0%と最も高く、次いで「どちらかというと、とったほうがよい」の割合が30.6%となっています。



B 介護休暇

「とったほうがよい」の割合が58.1%と最も高く、次いで「どちらかというと、とったほうがよい」の割合が26.0%となっています。



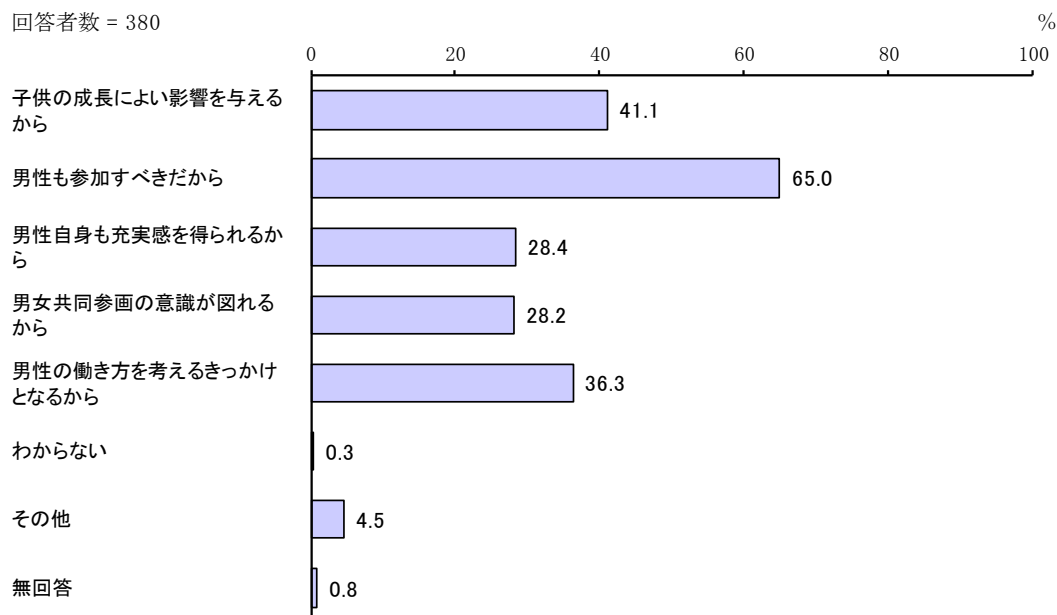
《問12で「A 育児休暇」、「B 介護休暇」それぞれについて、「1. とったほうがよい」、「2. どちらかというのとったほうがよい」、と回答した方にお聞きします。》

問12-1 そう思う理由を次の中からすべて選んで○をつけてください。

A 育児休暇

「男性も参加すべきだから」の割合が65.0%と最も高く、次いで「子供の成長によい影響を与えるから」の割合が41.1%、「男性の働き方を考えるきっかけとなるから」の割合が36.3%となっています。

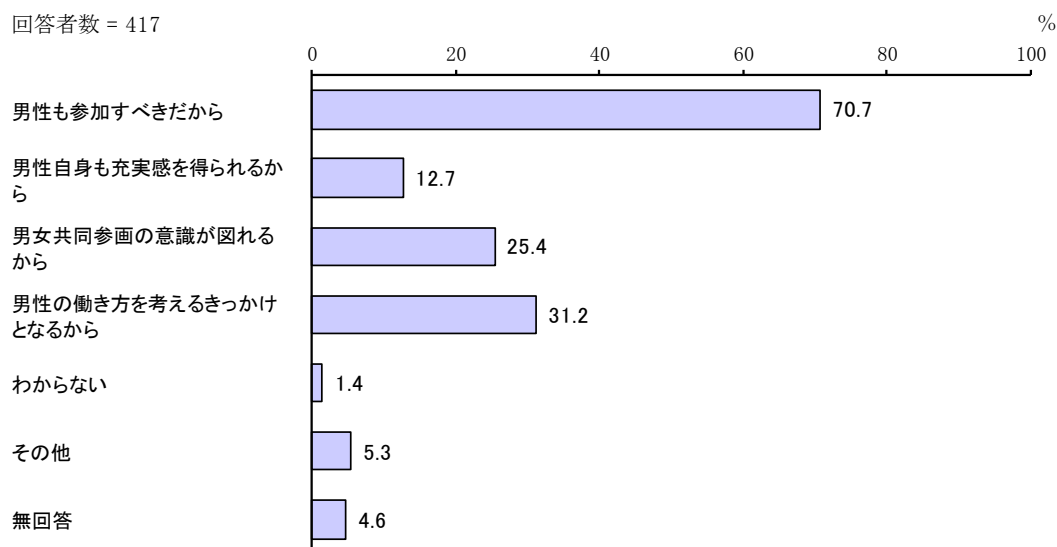
回答者数 = 380



B 介護休暇

「男性も参加すべきだから」の割合が70.7%と最も高く、次いで「男性の働き方を考えるきっかけとなるから」の割合が31.2%、「男女共同参画の意識が図れるから」の割合が25.4%となっています。

回答者数 = 417

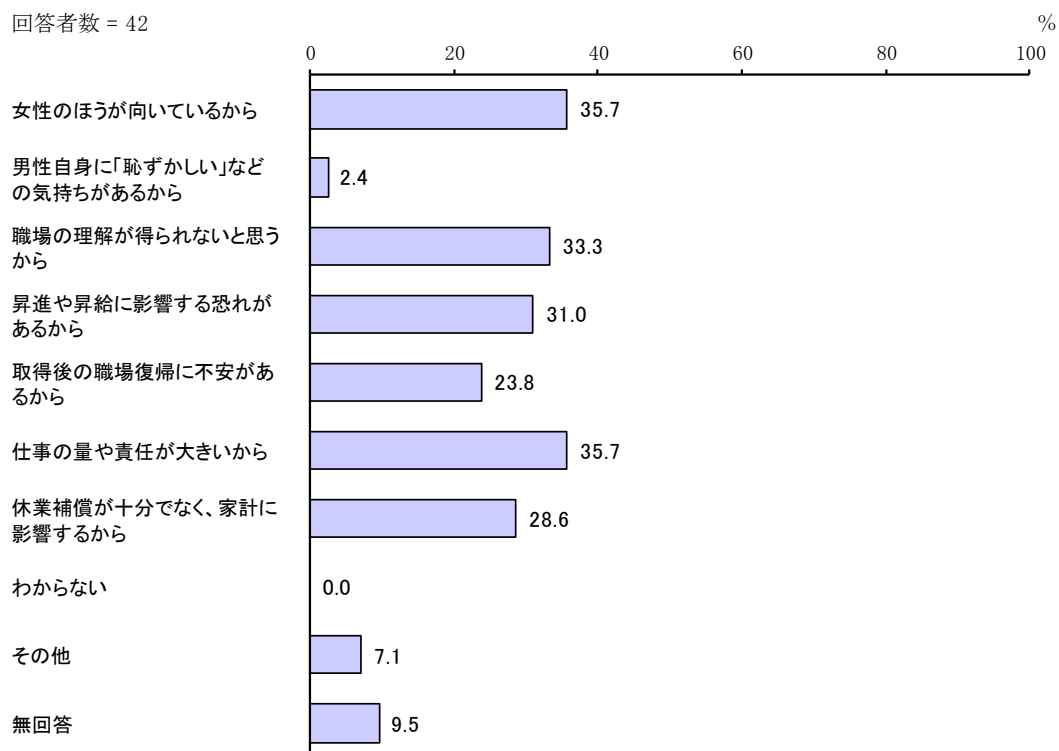


《問12で「A 育児休暇」、「B 介護休暇」それぞれについて、「3. どちらかという
と、とらないほうがよい」、「4. とらないほうがよい」と回答した方にお聞きしま
す。》

問12-2 そう思う理由を次の中からすべて選んで○をつけてください。

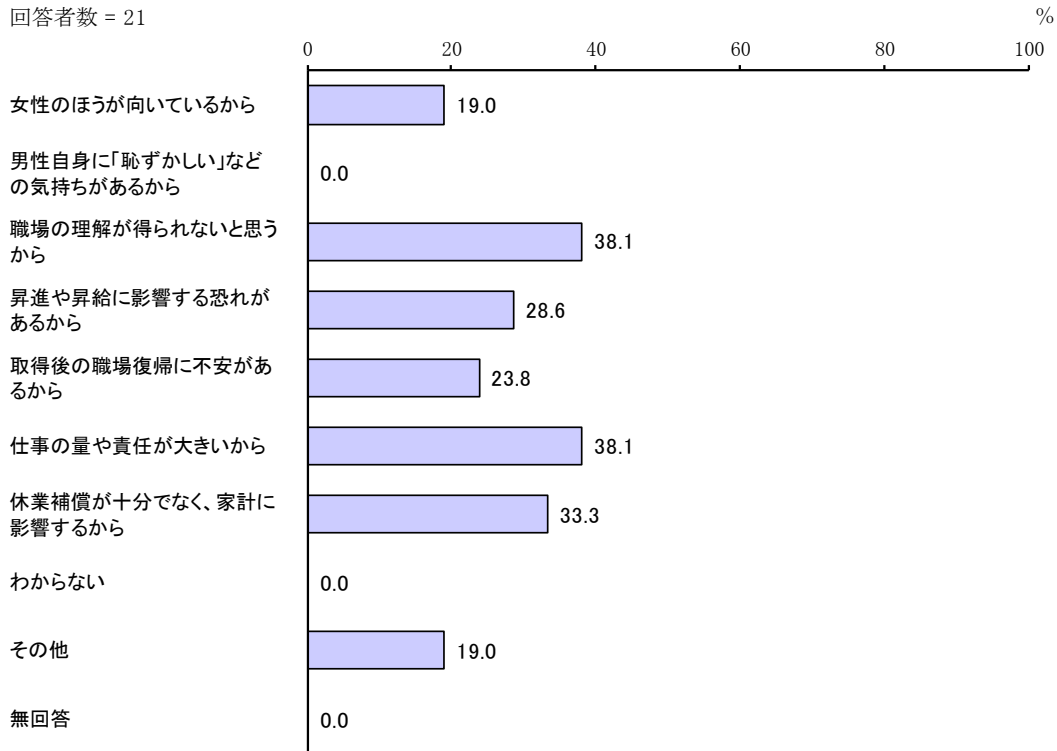
A 育児休暇

「女性のほうが向いているから」、「仕事の量や責任が大きいから」の割合が35.7%と最も高く、
次いで「職場の理解が得られないと思うから」の割合が33.3%となっています。



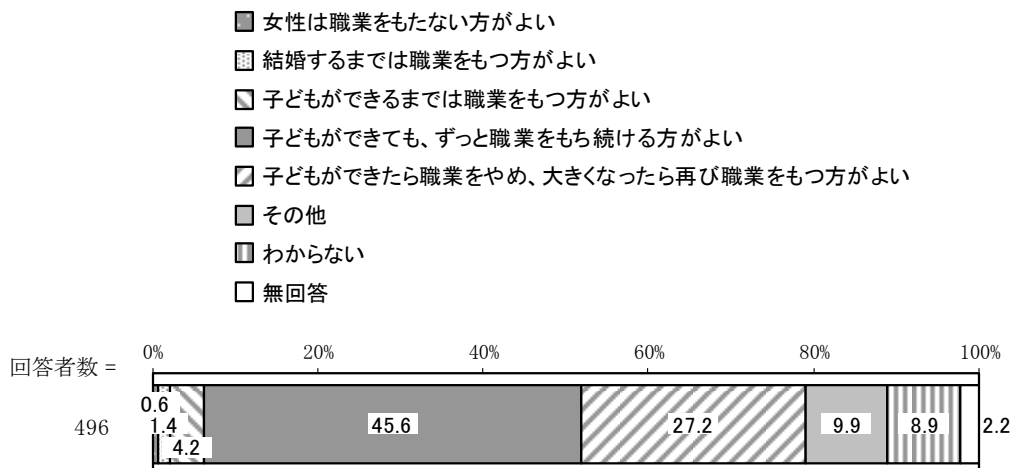
B 介護休暇

「職場の理解が得られないと思うから」、「仕事の量や責任が大きいから」の割合が38.1%と最も高く、次いで「休業補償が十分でなく、家計に影響するから」の割合が33.3%となっています。



問13 あなたは、女性が職業をもって働き続けることについてどのように考えますか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。

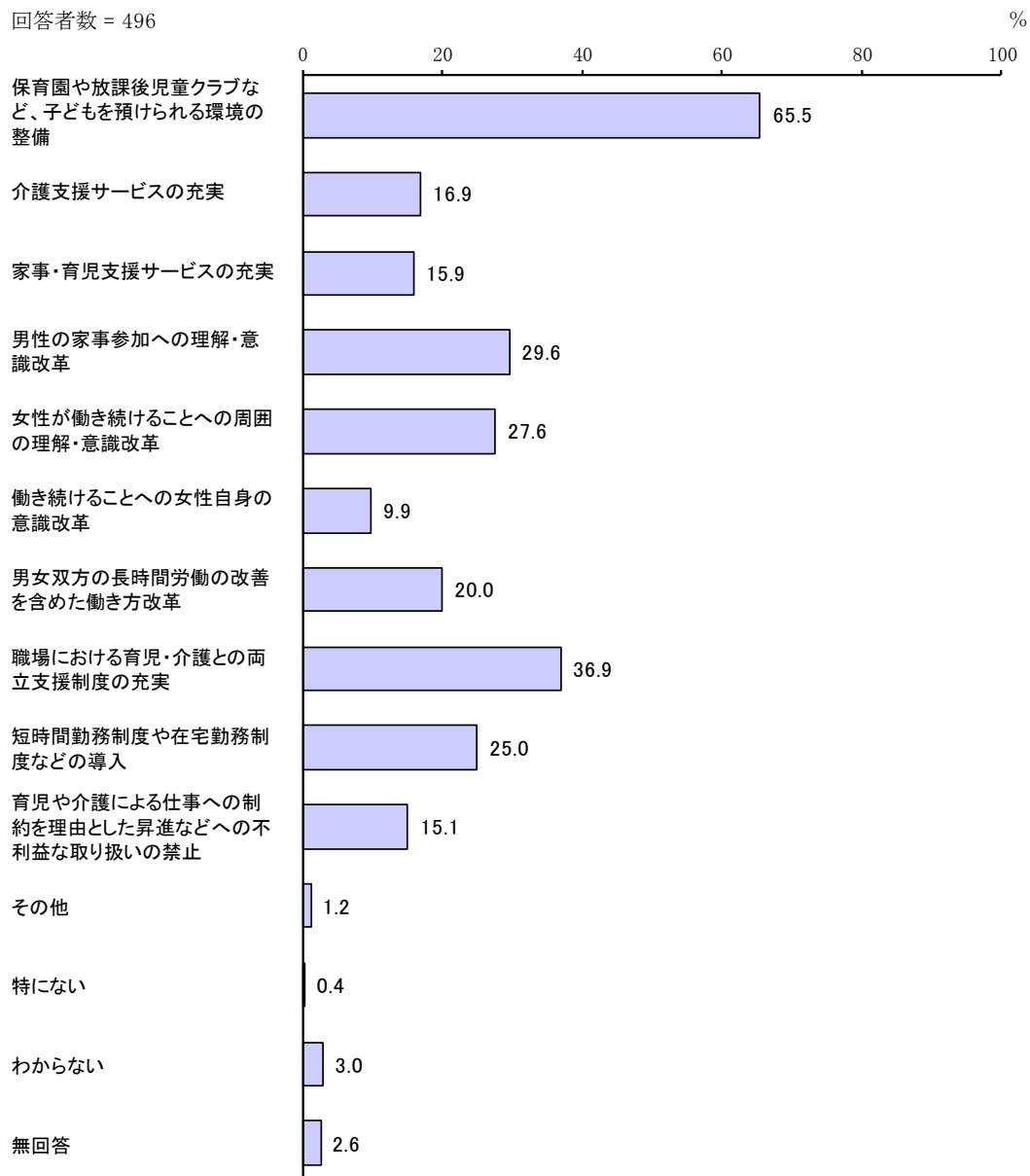
「子どもができて、ずっと職業をもち続ける方がよい」の割合が45.6%と最も高く、次いで「子どもができたなら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい」の割合が27.2%となっています。



問 14 女性が出産後も、同じ職場に復職し、働き続けるために、家庭・社会・職場において必要なことは何だと思えますか。次の中からあてはまるものを3つまで選んで○をつけてください。

「保育園や放課後児童クラブなど、子どもを預けられる環境の整備」の割合が65.5%と最も高く、次いで「職場における育児・介護との両立支援制度の充実」の割合が36.9%、「男性の家事参加への理解・意識改革」の割合が29.6%となっています。

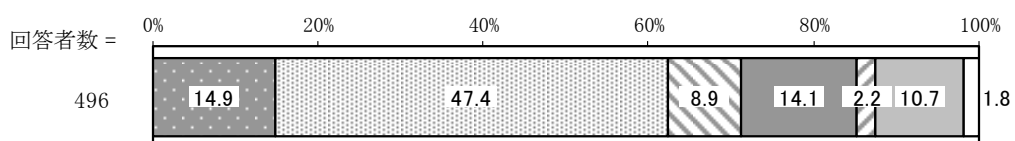
回答者数 = 496



問 15 離職した女性が、再就職を考えたとき、どのような働き方を望むと思いますか。
次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

「仕事と家事・育児・介護が両立しやすい環境で正社員として働きたい」の割合が47.4%と最も高く、次いで「これまでの知識や経験を生かして、正社員として働きたい」の割合が14.9%、「働く時間や場所を考え、パート・アルバイトとして働きたい」の割合が14.1%となっています。

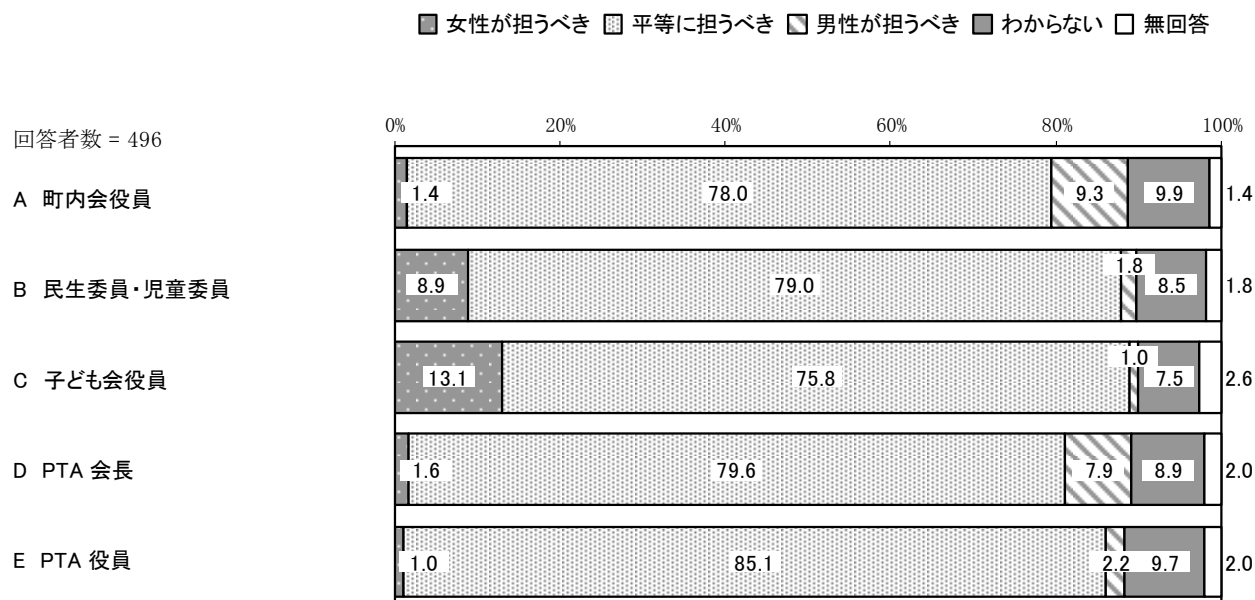
- これまでの知識や経験を生かして、正社員として働きたい
- 仕事と家事・育児・介護が両立しやすい環境で正社員として働きたい
- これまでの知識や経験を生かして、パート・アルバイトとして働きたい
- 働く時間や場所を考え、パート・アルバイトとして働きたい
- その他
- わからない
- 無回答



9 地域社会について

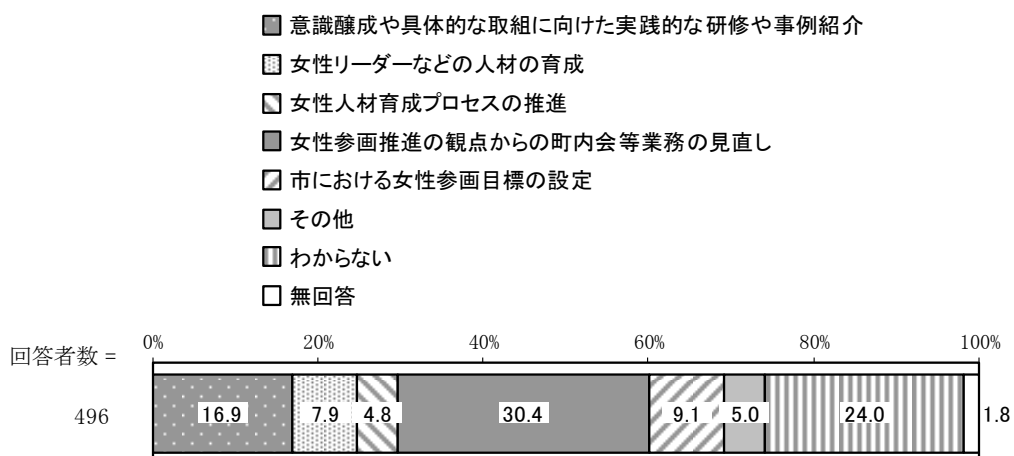
問 16 地域社会における役割は、男女どちらが担うべきだと思いますか。A～Eの項目について、あてはまるものを1つずつ選んで○をつけてください。

『C 子ども会役員』で「女性が担うべき」の割合が高くなっています。また、『E PTA役員』で「平等に担うべき」の割合が高くなっています。



問 17 町内会等において女性が活躍するために、どのようなことが必要だと思いますか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。

「女性参画推進の観点からの町内会等業務の見直し」の割合が30.4%と最も高く、次いで「わからない」の割合が24.0%、「意識醸成や具体的な取組に向けた実践的な研修や事例紹介」の割合が16.9%となっています。



10 男女共同参画社会について

問 18 岩倉市男女共同参画基本計画では、男女共同参画社会の実現に向け、推進する施策の分野を以下のように定めています。岩倉市は今後どのような施策の分野に力を入れていくべきだと思いますか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。

「仕事と家庭が両立できる環境の整備（ワークライフバランスの普及）」の割合が 45.6%と最も高く、次いで「高齢者の暮らしの支援」の割合が 32.5%、「多様なニーズに対応した子育ての支援」の割合が 29.6%となっています。

